

第31回静岡県伐木技術競技会

と き 令和7年11月29日（土）

ところ 伊豆市上船原 天城ふるさと広場天城ドーム及び上船原振興会所有山林



主催：一般社団法人フォレストーズフォーラム

後援：静岡県

静岡県森林組合連合会

林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部

公益社団法人静岡県山林協会

公益財団法人静岡県グリーンバンク

協賛：株式会社山福

株式会社中村商会

株式会社スチール

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

日立建機日本株式会社

イワフジ工業株式会社

第 31 回 静岡県伐木技術競技会

と き：2025 年 11 月 29 日（土）

ところ：伊豆市上船原 天城ふるさと広場天城ドーム
上船原振興会所有山林

次 第

- 1 受付（天城ドーム） 8:30~9:00
- 2 開会（天城ドーム） 9:00
 - (1) 主催者あいさつ
 - (2) 競技会説明
 - ①競技方法の説明
 - ②出場選手・審査員紹介
- 2 切り出し運搬安全技術講習会（立木伐倒競技会場） 9:15~10:00
- 3 競技会（各競技会場） 10:00~15:45（昼食 12:00~13:00）
 - (1) 競 技
 - (2) 審 査
- 4 表彰式（天城ドーム） 16:00
 - (1) 募金箱返還 公益財団法人静岡県グリーンバンク
 - (2) 審査講評 審査長 静岡県林業振興課長
 - (3) 表 彰
 - (4) 来賓祝辞
- 6 閉 会 16:30

*上記の時刻は、変更となる場合があります。

第31回静岡県伐木技術競技会 来賓名簿 (敬称略 順不同)

所属	職名	氏名
静岡県経済産業部	林業振興課長	牧野 俊裕
静岡県森林組合連合会	常務理事	望月 鉄彦
林業・木材製造業労働災害防止協会	静岡県支部副支部長	菅沼 良将
(公社) 静岡県山林協会	専務理事	清水 克郎
(公財) 静岡県グリーンバンク	常務理事	諸田 僚

令和7年度切り出し運搬安全技术講習会

デモ伐倒	片平 有信		
説明	宮本 卓明		
安全管理	高橋 幸村	飯塚 雄紀	増田 暁三
	落合 大樹	鈴木 礼	遠藤 晃崇

第31回静岡県伐木技術競技会審査員名簿 (敬称略・順不同)

審査長：静岡県経済産業部林業振興課長 牧野 俊裕

班区分	氏 名	所 属
立木伐倒 審査班	宮本 卓明 飯塚雄紀	◎ 一般社団法人フォレストーズフォーラム 一般社団法人フォレストーズフォオーラム
立木伐倒 計測班	落合 大樹 坂本 陽 望月 大輝	◎ 一般社団法人フォレストーズフォーラム 志太榛原農林事務所森林整備課 中部農林事務所森林整備課
立木伐倒 安全管理班	高橋 幸村 増田 暁三 寺田 真巳 福田 拓実	◎ 一般社団法人フォレストーズフォーラム 静岡県森林組合連合会 中部農林事務所森林整備課 西部農林事務所天竜農林局森林整備課
模擬伐倒 審査班	片平 有信 遠藤 晃崇	◎ 一般社団法人フォレストーズフォーラム 一般社団法人フォレストーズフォオーラム
模擬伐倒 計測班	鈴木 礼 森 正樹	◎ 一般社団法人フォレストーズフォーラム 東部農林事務所森林整備課
模擬伐倒 準備班	伊藤 允彦 吉崎 学 久保田 克哉	◎ 賀茂農林事務所森林整備課 中部農林事務所森林整備課 東部農林事務所森林整備課
審査集計	今井 保隆 鈴木 雅彦 原 麗衣	◎ 一般社団法人フォレストーズフォーラム 林業振興課 林業振興課

◎は班長

第31回静岡県伐木技術競技会競技順序

選手No	第1競技	第2競技
No1～7	立木伐倒競技	模擬伐倒競技
No8～15	模擬伐倒競技	立木伐倒競技

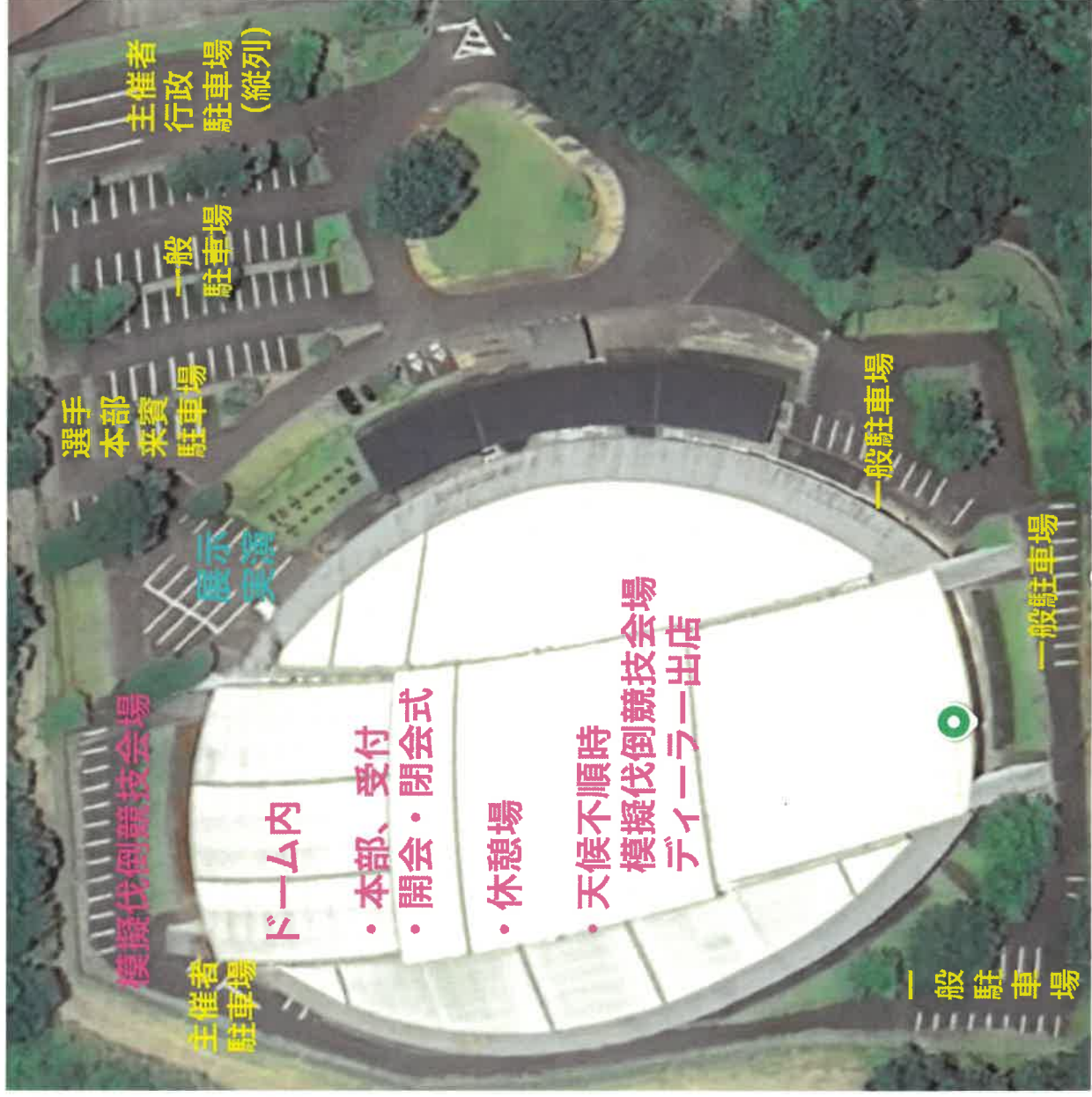
第31回静岡県伐木技術競技会 出場選手名簿 (敬称略)

地域等	選手No	氏名	所属経営体	模擬伐倒順位	立木伐倒順位	総合順位
東部		小林 宏光	(株) 白糸植物園			
		貫名 克明	(株) フジヤマロガー			
中部		酒井 健司	森林組合おおいがわ			
		大石 勲	(有) 落合製材			
		天野 彩太郎	清水森林組合			
		草柳 寿康	(株) 玉川きこり社			
西部		竹内 晶	(有) 天竜フォレスター			
FW 3		島木 翔	(株) 天城農林			
FW 3		鈴木 賢一	(株) 天城農林			
FW 3		神崎 珠実	(株) 兵庫親林開発			
FW 3		伊藤 健吾	(株) 明善フォレスト			
FW 3		落合 海秀	(株) フジイチ			
FW 2		兵庫 歩夢	(株) 兵庫親林開発			
FW 2		大庭 峻輔	(株) フジイチ			
FW 2		喜多 遼太郎	(有) 天竜フォレスター			

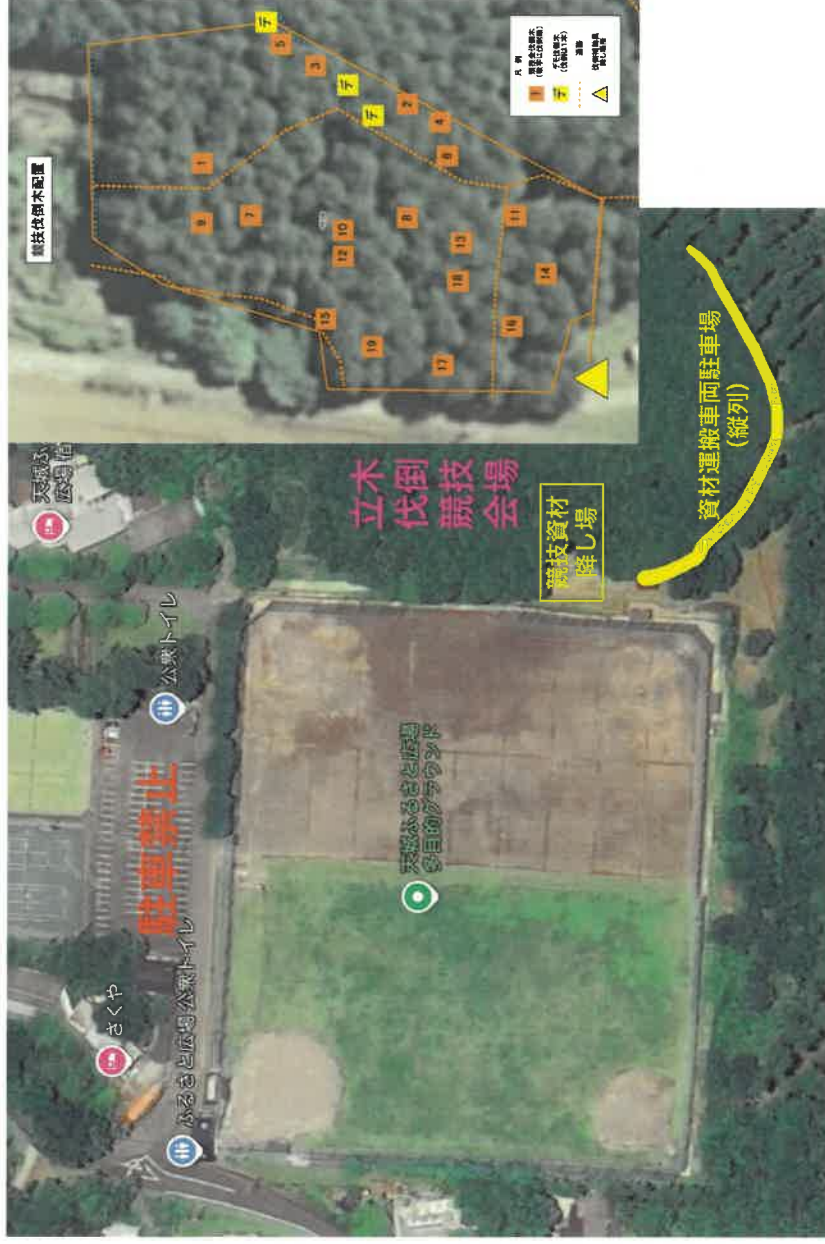
第31回静岡県伐木技術競技会表彰

部門	順位	選手No	選手名
模擬伐倒	1位 静岡県山林協会会長賞		
立木伐倒	1位 静岡県森林組合連合会会長賞		
総合	1位 静岡県知事賞		
	2位 林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部長賞		
	3位 静岡県グリーンバンク会長賞		
	4位 フォレスターズフォーラム会長賞		
	5位 フォレスターズフォーラム会長賞		
	6位 フォレスターズフォーラム会長賞		

天城ドーム会場案内図



立木伐倒競技会場案内図



第 31 回静岡県伐木技術競技会要綱

1. 競技内容

立木で行う伐倒競技及び丸太で行う模擬伐倒競技とする。

2. 競技会場

〒410-3216 伊豆市上船原 1120-1

天城ふるさと広場 天城ドーム及び隣接山林

3. 開催日時

① 2025 年 11 月 29 日 土曜日

② スケジュール

- 8:30~9:00 選手・来場者受付
- 9:00~9:15 開会、選手紹介、競技説明
- 9:15~10:00 伐木安全講習会（立木伐倒競技会場内）
- 10:00~12:00 競技
- 12:00~13:00 休憩
- 13:00~16:00 競技、審査集計
- 16:00~16:30 表彰、審査結果の配布、閉会

4. 表彰

- ① 立木伐倒競技：1 位
- ② 模擬伐倒競技：1 位
- ③ 総合：1～6 位

5. 選手の選考

- ① 選手は 16 名とする。
- ② 静岡県内の FW 2 年及び 3 年の研修生 8 名（FW 選手）と、静岡県内在住で 3 年以上の林業経験者 8 名（一般選手）とする。
- ③ FW 選手の選抜は、集合研修での効果測定の結果による。
- ④ 一般選手 8 名は、所屬地域割を東部（富士川以西から伊豆）、中部（富士川以東から大井川以西）、西部（大井川以西）とし、東部 2 名、中部 3 名、西部 3 名を割り当てる。
- ⑤ 一般選手の各地域の応募が割り当てを超える場合は抽選により選手を決定する。また、各地域において選手応募が割り当てに満たない場合は、他地区の応募者から替わりの選手を抽選で決定する。
- ⑥ 一般選手の募集は、静岡県内の各農林事務所を通じて行う。
- ⑦ 一般選手の参加希望者は、指定の応募用紙に必要事項を記入して事務局までメールで応募する。

6. 競技者が使用するチェーンソー（立木伐倒、模擬伐倒共通）

- ① **法定適合シールが貼られたチェーンソー**とする。シールがない場合は、立木伐倒競技の得点から 50 点を差し引く。
- ② チェーンソーの排気量やバーのサイズは、通知された競技対象木の大きさに適したものとする。
- ③ ソーチェーンの規格及び刃の大きさは問わない。
- ④ 以下の安全装置が作動するチェーンソーを使用する。
 - チェーンブレーキが慣性作動点検で作動すること。
 - チェーンキャッチャーの脱落、破損がないこと。
 - スロットトリガーロックアウトの脱落、破損、作動不良がないこと。
 - 防振スプリング（ゴム）の脱落、破損がないこと。
 - 前後ハンドガードの脱落、破損がないこと。
- ⑤ 適正に整備されたチェーンソーを使用する。
 - クラッチカバーに亀裂や欠け等の損傷がないこと。
 - バーやソーチェーンに亀裂や欠け等の損傷がないこと。
 - エンジンの始動や吹け上がり等の不具合がないこと。
 - チェーンオイルが適正に吐出されていること。
- ⑥ チェーンソーへ標準装備された以外のマーキングは禁止する。チェーンソーに標準装備された以外のマーキングがある場合は、立木伐倒競技の得点から 50 点を差し引く。
- ⑦ **安全装置が全て正常でない場合は失格**とする。
- ⑧ **故障や不具合により競技が続行できない時は失格**とする。

7. 服装と保護具（立木伐倒、模擬伐倒共通）

- ① ヘルメットは飛来・落下適合品とし、変色等経年劣化していないものとする。
- ② ヘルメットは顎紐の緩みがないように着用する。
- ③ 破れのないフェイスガードを使用する。
- ④ 損傷のないイヤマフまたは耳栓を使用する。
- ⑤ 上着衣服は袖締りの良い長袖を着用する。
- ⑥ チェーンソー操作に適した破損のない革手袋等とする。**軍手は不可とし、失格**対象とする。
- ⑦ 破損の無い防護ズボンを着用する。
- ⑧ 破損のない防護ブーツを着用する。
- ⑨ **適正な服装と保護具が着用されていない場合は、失格**とする。

8. 競技進行

- ① 競技順序と立木伐倒競技の競技木は、受付時の番号抽選により決める。
- ② 番号 1～8 番の選手は立木伐倒競技から番号順に行い、終了後に模擬伐倒競技を行う。
- ③ 番号 9～16 番の選手は模擬伐倒競技から番号順に行い、終了後に立木伐倒競技を行う。

9. 機械審査及び服装・保護具審査

- ① 両競技の審査員は競技開始前に審査を行い、全てが適正な場合は選手のヘルメットに緑色シールを貼る。

- ② 審査員によりシールが貼られない場合は失格となる。
- ③ 機械及び服装・保護具審査は選手 1 人あたり 1 回とし、前の競技から移動してきた選手の審査は行わない。

10. 立木伐倒競技

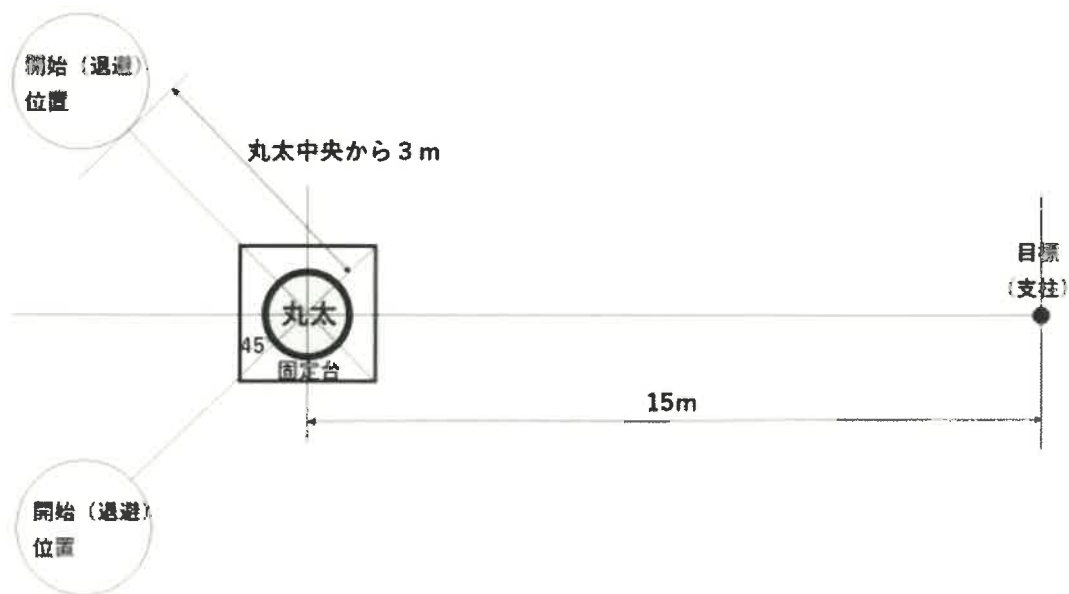
- ① 競技は立木の伐倒及び伐倒木の枝払いとする。
- ② 競技木及び競技順序は、受付時に抽選した番号による。
- ③ 選手は、競技前に審査表が挟まれたクリップボードを審判員に渡す。
- ④ 笛を携帯する。**笛の携帯がない場合は失格**とする。
- ⑤ 競技の進行、審査基準、反則、注意事項は立木伐倒競技審査表を参照。
- ⑥ 伐倒はクサビを使用し、かかり木処理は適正な用具を使用する。
- ⑦ **危険行為や怪我等、審査員が競技中止と判断した場合は失格**とする。
- ⑧ 競技終了後、審査員は選手のヘルメット前面に赤色シールを貼る。
- ⑨ 審査員によりシールが貼られない場合は失格となる。
- ⑩ 選手は、競技終了後に審査表が挟まれたクリップボードを審判員から受け取り、審査表を本部に提出する。
- ⑪ 同点の場合は競技タイムの早い選手が上位となる。

11. 模擬伐倒競技

- ① 競技順序は、受付時に抽選した番号による。
- ② 固定された皮付き丸太（直径 30 c m 程度、長さ 80 c m）を使用する。
- ③ 1 5 m 先の目標に向けて受け口と追い口を作成し、それぞれの誤差を測定する。
- ④ 使用器具はチェーンソーのみとする。
- ⑤ 選手は、競技前に審査表が挟まれたクリップボードを審判員に渡す。
- ⑥ 競技の進行は以下の通りとする。
 - 審判員とともに制作位置をマーキングする。
 - 開始位置で待機
 - 審査の始めの合図によりソーチェーンカバーを取り外し、競技開始。
 - 競技対象丸太まで移動後、指差し呼称を行う。
 - 15m 先に立てられた目標物を伐倒方向と定め、受け口、追い口の作成を行う。
 - 追い口作成後、退避場所へ退避し、ソーチェーンカバーを取り付けて終了する。
 - 競技終了後、審査員は選手のヘルメット前面に青色シールを貼る。
 - 審査員によりシールが貼られない場合は失格となる。
- ⑦ 審査基準は技能検定 2 級の実技試験内容に準じ、以下の通りとする。
 - エンジンを始動させるときは、チェーンブレーキをかけていなければならない。
 - エンジンを始動させるときは、チェーンソーを地面に置き保持して行う。
 - チェーンブレーキの作動、解除はチェーンソーを両手で保持した状態で行う。ただし、ガイドバーが試験木の内側にあるときは右手でブレーキをかけても可とする（開口した受け口は外部とみなす）。また、地面に置いての右手解除は可とする。
 - エンジンがかかった状態で、チェーンブレーキを設定せずに移動してはいけない（移動とは二歩以上

歩くことを示し、体勢の変更は含まない）。ただし、ガイドバーが試験木の内側にあるときは除く（開口した受け口は外部とみなす）。

- エンジンがかかった状態でソーチェーンに触れてはいけない。
 - チェーンソーを持ち運ぶ際はガイドバーを組付けた状態で、ソーチェーン全体を覆うようにカバーを取り付けておくこと。（試験開始時には審査員の始めの合図があってからカバーを取り外すこと、また試験終了時にはカバーを取り付けてから審査員に終了の合図を行うこと）。
 - エンジンがかかった状態でカバーの脱着を行ってはいけない。
 - 追い口を切込み中に受け口側に回り込んではいけない（追いづる切りの場合を除く）。
 - 受け口下切及び追い口の切り直しは不可とする。
 - **丸太上部からの覗き込みは失格とする。**
 - **危険行為や怪我など、審査員が競技中止と判断した場合は失格とする。**
 - 同点の場合は競技タイムの早い選手が上位となる。
- ⑧ 競技の審査基準、注意事項は模擬伐倒競技審査表及び下記の図面を参照。
- ⑨ 選手は、競技終了後に審査表が挟まれたクリップボードを審判員から受け取り、審査表を本部に提出する。



2級 実技試験の実施手順

- 1 開始位置の申告、開始の合図
- 2 指差呼称
- 3 受け口・追い口作成－仕様
- 4 退避、終了の合図

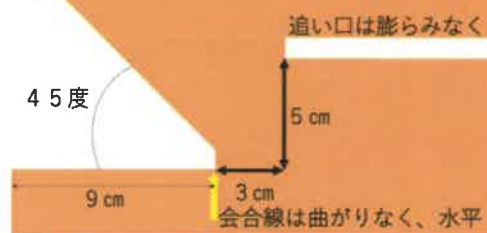
2級 仕様（受け口・追い口作成）

赤いマーカー
(これより上で作業を行う)



2級 仕様（受け口、追い口作成）

※下切り（水平切り）が追い口側に近い場合



2級 仕様（受け口、追い口作成）

※斜め切りが追い口側に近い場合



8. 伐倒競技の安全確保

- 見学者の安全を確保するため、3名以上の安全管理班を指名する。
- 安全管理班は、競技の支障となる範囲に見学者を立ち入らせないと共に、ロープ等を使用して安全を確保する。
- 伐倒競技審査員は、競技者が追い口切を行う前に安全を確認し、安全確保の確認がとれた後に競技を再開する。

12. その他注意事項

- ① **天城ドーム内は、スパイク付きの履き物での侵入を禁止**する。
- ② **天城ドーム内のクレーグラウンド内の立ち入りは禁止**する。
- ③ **昼食や飲み物は各自で用意し、ゴミは持ち帰る。**
- ④ **天城ふるさと平場内や立木伐倒競技会場に、燃料、チェーンオイル、整備時に出るゴミ等をこぼさない。**

第31回静岡県伐木技術競技会 チェーンソー及び服装・保護具審査表

選手番号： 選手氏名：

審査項目		チェック	減点	審査基準	*競技者・★審査員特記
チェーンソー	チェーンブレードの作動	OK	NG	自然落下作動確認	安全装置が全て正常でない場合は失格とする。 失格 (丸で囲う)
	チェーンキヤッチャーの脱落、破損	OK	NG	変形はNG	
	スロットトリガーロックアウトの脱落、破損、作動不良	OK	NG		
	防振スプリング（ゴム）の脱落、破損	OK	NG		
	前後ハンドガードの脱落、破損	OK	NG		
	法定適合シール	OK	NG	★シールがない場合	
	反則（チェーンへのマーク追加）	OK	NG	★反則があった場合	
	ヘルメットは飛来・落下適合品とし、変色等経年劣化していないもの	OK	NG		
	ヘルメットの顎紐の緩み	OK	NG		
	フェイスガードの破損	OK	NG		
服装・保護具	イヤーマフ（耳栓）の破損	OK	NG		服装・保護具が適正に着用されていない場合は失格とする。 失格 (丸で囲う)
	袖締まりの良い長袖	OK	NG		
	防振手袋の破損	OK	NG		
	防護スポンの破損	OK	NG		
	防護ブーツの破損	OK	NG		
		OK	NG		

第31回静岡県伐木技術競技会 立木伐倒競技審査表

選手番号：

選手氏名：

競技進行順序及び審査項目				規定値	配点	減点	審査基準	*競技者・★審査員特記
競技開始合図								
伐倒前 安全 確認	反則						チェーンソーに標準装備された以外のマーキング -50 法定適合シールなし -50	【競技前準備】 ・伐倒木から10mの位置に伐倒方向明示杭を設置 ・退避場所明示杭の設置 ・周囲の整理と牽引具の準備
	伐倒木の周囲の整理			10			整理をしている	
	退避場所の位置			30			伐倒方向を中心線として、後方30度以内に入らない斜面上部の安全を確保できる位置	
	小計			40				
	指差し呼称						明確な実行をしている	【競技開始】 ・競技者は、退避場所待機 ・審査員の笛の合図により競技開始 ・審査員の開始合図で時間計測開始
	上方			10				
	周囲			10				
	伐倒方向			10				
	退避場所			10				
	小計			40				
受口	作業開始前合図（笛）			10			安全確認終了後に、明確な実行をしている	・競技者が受口確認後、審査員は競技停止の笛の合図を行う ・審査員の中断合図で時間計測中断 ・競技者は退避場所待機 ・受口角度の計測と会合線の確認 ★伐倒木へのマーキング及び芯切、斧目は反則
	インジンの始動			10			地面に置いて固定若しくは両足で挟んで固定	
	チェーンソーの使用			20			・インジン始動時、移動時、工程毎の作業終了時 ・チェーンソーを片手持ちする時	
	キックバック			20			キックバックの有無	
	保護具の使用			30			作業中にイヤーマフやフェイスガード等を確実に使用	
	正確性（受口の修正）			20			1回の切削毎に、修正1回とカウント 修正2回以内 -0 3回以上4回以内 -10 5回以上 -20	
	作業中の足場の確保と身体の位置、姿勢			20			・受口をつくり易い位置に安定して身体を置いている ・チェーンソーを身体の一部に預けるなどして、手だけで持っていない	
	作業の流れ			20			無駄の無い作業手順を実行している。 良 -0、可 -10、不可 -20	
	受け口の確認（指差し呼称）			10			明確な実行をしている	
	水平切高さ	地際から15cm以下		10			地際からの高さ	
	水平切深さ	8cm以上10cm以下		30			規定値内 -0 誤差0.5cm未満 -10 誤差0.5cm以上 -30	
	斜め切角度	45度以上		30			規定値以外 -30	
	会合線	完全な一致		30			完全な一致以外 -30	
	伐倒方向水平	0度		20			0.5度未満 -0 0.5度以上1度未満 -10 1度以上 -20	
	横方向水平	0度		30			0.5度未満 -0 0.5度以上1度未満 -10 1度以上 -30	
	反則（芯切、斧目）						継合点には加算しないが反則があった場合 -50	
	小計			310				
競技停止合図								
競技進行順序及び審査項目				規定値	配点	減点	審査基準	*競技者・★審査員特記
競技再開合図								
追い口	指差し呼称 周囲			10			明確な実行をしている	・受口の計測と確認後、審査員の合図により、競技再開 ・審査員の合図により時間計測再開 ・再開後、競技者は退避場所より出て伐倒前合図から競技再開 ・追い口高さ、ツル幅は最小・最大値を計測し、それぞれ指定数値内かを審査 ・各計測値は、競技者各自の伐根に表示 ★伐倒木へのマーキングは反則
	伐倒前合図（笛）			10			明確な実行をしている	
	インジンの始動			10			地面に置いて固定若しくは両足で挟んで固定	
	チェーンソーの使用			20			インジン始動時、移動時、工程毎の作業終了時 チェーンソーを片手持ちする時	
	キックバック			20			キックバックの有無	
	保護具の使用			30			作業中にイヤーマフやフェイスガード等を確実に使用	
	作業中の足場の確保と身体の位置、姿勢			20			・追い口をつくり易い位置に安定して身体を置いている ・チェーンソーを身体の一部に預けるなどして、手だけで持っていない	
	作業の流れ			20			無駄の無い作業手順を実行している。 良 -0、可 -10、不可 -20	
	追い口高さ	3cm以上		20			規定値以内で誤差0.5cm未満 -0 規定値以内で誤差0.5cm以上1cm未満 -10 規定値以内で誤差1cm以上 -20	
		5cm以下		20			規定値外 -20	
	追い口両端高さ誤差	0.5cm		20			規定値外 -20	
	ツル幅	2cm以上		30			規定値以内で誤差0.5cm未満 -0 規定値以内で誤差0.5cm以上1cm未満 -20 規定値以内で誤差1cm以上 -30 規定値外 -30	
		3.0cm以下		30				
	ツル幅平行誤差	0.5cm		30				
	伐倒方向水平	0度		20			0.5度未満 -0 0.5度以上1度未満 -10 1度以上 -20	
	横方向水平	0度		20				

第31回静岡県伐木技術競技会 立木伐倒競技審査表

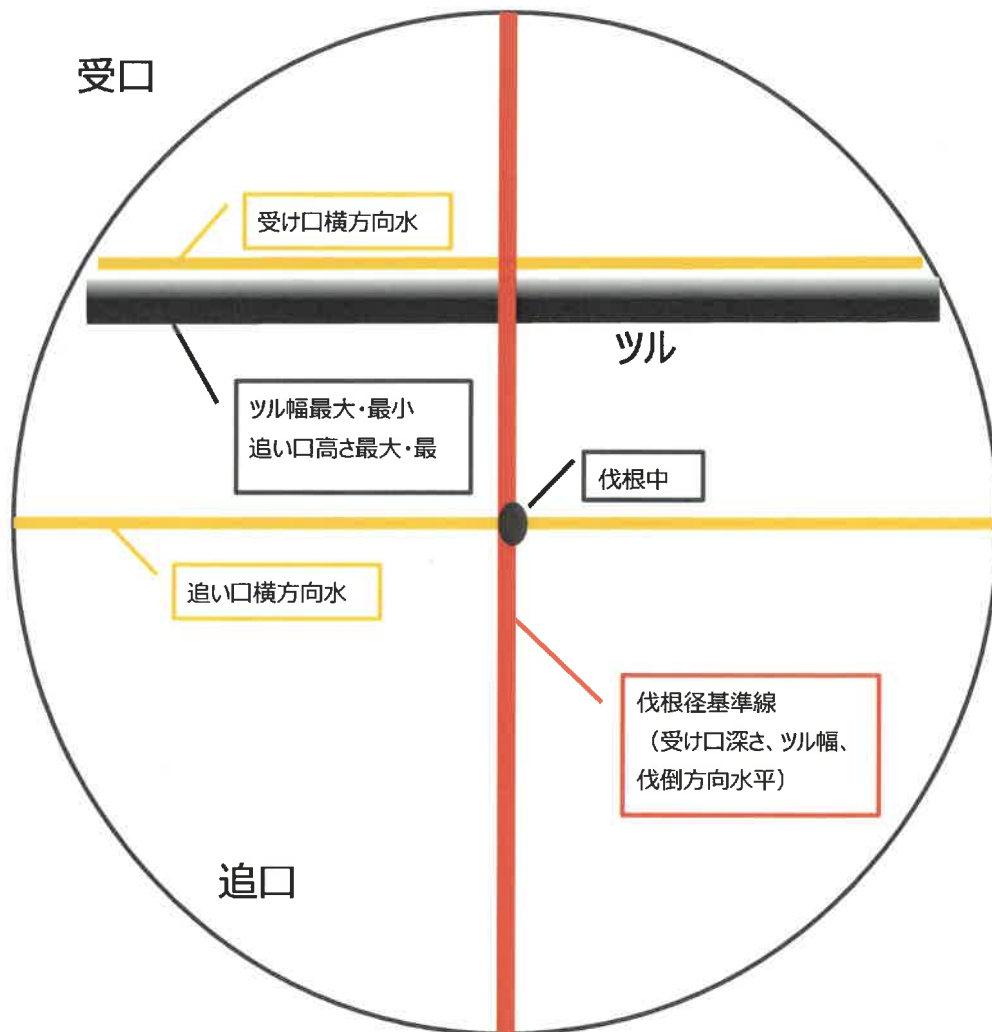
選手番号：

選手氏名：

伐倒 退避	反則（伐倒木へのマーキング）			反則があった場合 - 50	
	小計		330		
	クサビの使用のタイミング		10	クサビを使用するタイミング	
	クサビの大きさと枚数		10	適正な大きさのクサビを2枚使用している	
	クサビの使用方向		10	クサビの使用方向が適正である	
	退避の有無		40	退避場所への退避をしている	
	退避のタイミング		30	伐倒木の倒れ始めを判断し、素早い退避をしている	
	退避の経路		30	伐倒木の回り込みなど、危険な退避経路を使用していない	
	裂け		30	裂けの有無	
	指差し呼称				・伐倒時のクサビは2枚を伐倒方向を基本として使用 （通常伐倒時の横方向の使用は減点、追いツル伐り時の横使用はOK）
	伐倒方向上方		10	明確な実行をしている	
	伐倒木の安定		10		・競技者の伐倒終了合図で時間計測終了
	伐倒終了合図（笛）		10	安全確認終了後に合図をしている	
	作業の流れ		20	無駄の無い作業手順を実行している 良 - 0、可 - 10、不可 - 20	
	伐倒予定方向		30	予定方向への伐倒	
枝払い	競技時間	競技開始から競技木の伐倒まで		1位 +30、 2位 +20、 3位 +15 4位 +10、 5位 +5	
	小計		240		
	エンタンの始動		10	地面に置いて固定若しくは両足で挟んで固定	
	チェーンソーの使用		20	エンタンの始動時、移動時、工程毎の作業終了時 チェーンソーを片手持ちする時	
	キックバック		20	キックバックの有無	
	作業の流れ・移動・正確性		60	適正な姿勢で無駄の無い作業手順を実行している 幹に沿って正確に枝払いができている 優良 - 0、良 - 20、可 - 40、不可 - 60 バーが幹の自分側にある時に移動した時（1回につき-20）	・伐倒終了後、審査員の指示により開始する
	作業中の足場の確保と身体的位置		20	安全な位置に足を置き、材と適正な間隔を取っている。	
総合 評価	身体に負担の掛からない作業姿勢		20	チェーンソーを身体の一部に預けるなどして、手だけで持っていない。	
	小計		150		
	チェーンソーワーク		20	前後ハンドルの持ち方や取り扱い。 優 - 0、良 - 10、不可 - 20	
	目立て		20	良 - 0、可 - 10、不可 - 20	
	適正に整備されたチェーンソーの使用		20	良 - 0、可 - 10、不可 - 20	【かかり木について】 ・競技者が審査班長に申告（時間計測停止） ・ツルの修正や切断は原則禁止 ・ツルの修正や切断は審査班長が判断、指示 ・かかり木処理終了後、審査班長の合図で時間計測再開 ・競技者は退避場所へ戻り、安全確認、終了を合図し競技終了
	かかり木処理		20	適正な機資材の選択 適正な機資材の使用 良 - 0、可 - 10、不可 - 20	
	適切な伐倒用具の使用		20	整備された適切な用具を使用しているか	
	小計		100		
伐倒・選材合計			1,210	競技時間 分 秒	
失格（丸で囲う）				故障や不具合により競技が続行できない 笛の携帯がない 危険行為や怪我	

* 審判結果は得点欄へ減点を差し引いた得点を記入。規定値がある場合を除き、「出来ている場合は減点無」、「出来ていない場合は配点全て減点」で記入。必要があれば特記事項を記入する。

伐根計測



- ①受け口完成後に競技を一時中断し、受口角度と会合線を審査する。
- ②競技終了後、計測班長は伐根の中心を通る伐倒方向に伐根径基準線（赤線）を引き、伐根径を測る。また、この伐根基準線と中心で直角に交わる横方向及び受口側のツルとの境を横方向の水平基準線（オレンジ色線）とする。
- ③伐根径から受け口水平切深さ、ツル幅の規定値を算出する。
- ④受け口水平切深さを実測する。
- ⑤受け口水平切面にL字アングルを置き、地際からの高さを計測する。
- ③基準線上にL字アングルを置き、その上に角度測定器を置き、受口、追口の伐倒方向と横方向の水平度を計測する。
- ④ツル幅の最大・最小値を計測する。
- ⑤追口面にL字アングルを置き、追口高さの最大・最小値を計測する。
- ⑥受け口水平切面にL字アングルを置き、地際からの高さを計測する。
- ⑦以上の計測値を記録簿に記す。ただし、角度は0.1度未満切り捨て、以外は1mm未満切り捨てとする。

計測用具

三角定規、直線定規、L字アングル、角度測定器、ノギス、コンベックス

伐根計測記録簿

選手番号		選手氏名				
		規定値	実測値	誤差、可否	配点	減点
受口	水平切高さ	15 c m以下	c m	可 不可	10	
	水平切深さ	8 c m以上10 c m以下	c m	c m	30	
	伐倒方向水平	0度	度	度	20	
	横方向水平	0度	度	度	30	
追口	追口高さ	3 c m以上	c m	c m	20	
		5 c m以下	c m	c m	20	
	負い口高さ両端誤差	0.5cm	c m	c m	20	
	ツル幅	2.0 c m以上	c m	c m	30	
		3.0 c m以下	c m	c m	30	
	ツル幅平行誤差	0.5 c m	c m	c m	30	
	伐倒方向水平	0度	度	度	20	
	横方向水平	0度	度	度	20	

減点基準表

		規定値	減点基準
受口	斜め切角度	4 5度以上	可 -0、不可 -30
	会合線	完全な一致	可 -0、不可 -30
	水平切高さ	15 c m以下	可 -0、不可 -10
	水平切深さ	8 c m以上10 c m以下	規定値以内 -0、 誤差0.5cm未満 -10 誤差0.5 c m以上1.0 c m未満 -20 誤差1.0 c m以上 -30
	伐倒方向水平	0度	0.5度未満 -0、0.5度以上1度未満 -10、1度以上 -20
	横方向水平	0度	0.5度未満 -0、0.5度以上1度未満 -10、1度以上 -30
追口	追口高さ	3 c m以上	規定値以内で誤差0.5cm未満 -0
		5 c m以下	規定値以内で誤差0.5 c m以上1cm未満 -10 規定値以内で誤差1 c m以上 -20
	負い口高さ両端誤差	0.5cm	規定値外 -20
	ツル幅	2.0 c m以上	規定値以内で誤差0.5cm未満 -0
		3.0 c m以下	規定値以内で誤差0.5 c m以上1cm未満 -20 規定値以内で誤差1 c m以上 -30
		0.5 c m	規定値外 -30
	伐倒方向水平	0度	0.5度未満 -0、0.5度以上1度未満 -10、1度以上 -20
	横方向水平	0度	0.5度未満 -0、0.5度以上1度未満 -10、1度以上 -20

第31回静岡県伐木技術競技会 模擬伐倒競技審査表

選手番号：

選手氏名：

安全チェックリスト				
項目		減点	回数	減点
行動の安全	イヤーマフ、バイザーの使用	2		
	指差し呼称（上、周囲、伐倒方向、退避場所）	2		
	チェーンソーの始動	2		
	右手でのブレーキ操作（片手操作）	2		
	左手の親指を握りこめていない	2		
	ブレーキをかけずに移動（2歩以上）	2		
	ソーチェーンが回転している状態で歩行した	2		
	受け口側への回り込み	2		
	キックバックの発生	2		
	退避に関する不安全行動	2		
	適正に整備されたチェーンソーの使用	2		
	その他、審査員が認める不安全行動	2		
			減点合計①	

	指定寸法	測定寸法	ズレ	得点	
伐倒方向のズレ（cm）	0				ズレ：0～10cm以下：20ポイント 10cm超～50cm以下：10ポイント 50cm超～100cm以下：5ポイント 100cm超～：0ポイント
受け口・深さ（mm）	90				ズレ：0～10mm以下：5ポイント 10mm超～：0ポイント * 受け口中央部
受け口・角度（度）	45				ズレ：0～10度以下：5ポイント 10度超～：0ポイント
会合線の一致	一致				* 会合線の不一致（10mm以上）－10ポイント
会合線水平度（度）	0				ズレ：0～1度以下：20ポイント 1度超～2度以下：10ポイント 2度超～3度以下：5ポイント 3度超～：0ポイント
ツル幅・右（mm）	30				ズレ：0～5mm以下：15ポイント 5mm超～10mm以下：10ポイント 10mm超～15mm以下：5ポイント 15mm超～：0ポイント * ツル幅無し－10ポイント 中央部の切残り－5ポイント
ツル幅・左（mm）	30				ズレ：0～5mm以下：15ポイント 5mm超～10mm以下：10ポイント 10mm超～15mm以下：5ポイント 15mm超～：0ポイント
ツル高・右（mm）	50				ズレ：0～10mm以下：10ポイント 10mm超～20mm以下：5ポイント 20mm超～：0ポイント * ツル高無し－10ポイント
ツル高・左（mm）	50				ズレ：0～10mm以下：10ポイント 10mm超～20mm以下：5ポイント 20mm超～：0ポイント * ツル高無し－10ポイント
得点の合計②					

総得点 ②－①	＝	点
---------	---	---

タイム：	分	秒
------	---	---

失格 （丸で囲う）	丸太上部からの覗き込み 故障や不具合により競技が続行できない 危険行為や怪我
-----------	--